

よいや～の風によって



令和8年4月17日(金) No.5 校長 東原 宏章

「日々の学びを大切に」

年度末、年度初めの大きな行事がひと段落して、学校は通常日課となり、日々の学びが重ねられています。



上の画像は5年生社会科の学習の様子です。「〇月〇日のロンドンが午前10時のとき、東京は何月何日の何時?」という問いを皆で考え

ている場面です。すべての児童の視線が教師に集中しています。教師が発する言葉を聞き漏らさないようにしているのです。

今年度、高城台小学校では、算数科の授業を中心に、児童の思考力・判断力・表現力を高めていく研究を進めていきます。

思考力・判断力・表現力を高めていくうえで避けて通れないこととして「聞く力の向上」が挙げられます。聞くこと（インプット）が上手にできなければ、表現すること（アウトプット）も上達しないからです。5年生の聞く力の向上に期待大です。



左の画像は、6年生算数科の学習の様子です。「線対称な図形の残り半分を作図してみよう」という課題の解決に向けて、一人

一人の児童がチャレンジしている場面です。鉛筆が止まっている児童を見つけた教師が、児童と一緒に考えています。一斉指導の中の個別指導の場面です。

今年度の授業研究では「個別指導の在り方」にも注力していきます。

㊦は問題

皆で考えたことが見える部分

㊦ 下のように、おはじきで正三角形の形を作ります。
10番めの正三角形の形を作るのに、おはじきは何に必要ですか。

番め	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
こ数	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30

$1 \times 3 \quad 2 \times 3 \quad 3 \times 3 \quad \dots \quad 10 \times 3 = 30$

㊦ 図や表や式を使って、何番めかを表す数とおはじきの数の関係を見つけると、答えを求めることができる。

㊦ 何番めかを表す数とおはじきの数の関係に着目して、おはじきの求め方を考えよう。

㊦は「めあて」

㊦は「まとめ」

上の画像は5年算数科の授業終了後に撮影したものです。「めあて」は何を学習するかを児童と教師が共有するためのもの。「まとめ」は何ができたか、わかったかを確認するためのものです。児童の思考過程が可視化された黒板です。

よいや～の風にのって



令和8年 4 月20日(月) No.6 校長 東原 宏章

「歓迎遠足・歓迎遠足」

4月17日(金)、1年生を歓迎する集会と遠足が行われました。

午前8時50分、遠足の出発前に体育館で歓迎集会が行われました。



運営委員会の子どもたちが企画してくれた集会です。運営委員会の子どもたちは、全校の皆

が仲良くなれるようにと、「猛獣狩りゲーム」や「ジャンケン列車ゲーム」を用意してくれていました。

歓迎集会の最後に民生委員の皆様を紹介しました。

6名の民生委員の皆様は日頃から子どもたちの登下校を見守ってくださっています。通学路の



主要な交差点に立ち、子供たちの安心安全のために御尽力くださっています。

子どもたちは午前10時に学校を出発し、約2.4km 離れた矢上地区近隣公園を目指しました。

道中、6年生の児童はペアの1年生児童の手を取り、1年生を励ましたり笑わせたりしながら、関係づくりに努めていました。



【矢上地区近隣公園にて】 「思い思いに遊ぶ子どもたち」



「お弁当タイム」



入学以来、1年生にとっては毎日が初めての連続だったはずです。400人近くの規模で遠足を楽しむのも初めてのことだったでしょう。

少しずつ少しずつ、ゆっくりとゆっくりと、小学校生活に慣れていってほしいと願っています。

よいや～の風にのって



令和8年 4 月27日(月) No.7 校長 東原 宏章

「全国学力テストからのメッセージ」

1 cm^3 の立方体が36個あります。36個をすべて使って、高さが4cm の直方体を1つ作りました。その直方体の体積は何 cm^3 ですか。答えを書きましょう。」

4月23日(木)に6年生児童を対象とした全国学力テスト(国語・算数)が実施されました。

6年生の教室で、問題を解いている子どもたちの様子を伺いました。

算数の問題の中に、上のようなものがありました。印象に残った問題の一つです。

この問題が印象に残った理由は、子どもたちの反応です。他の問題はほぼ正解で埋めているのに、この問題だけは『後で考えよう』と空欄にしていた子どもが数名いたからです。

学力テストが終了した後に、【空欄にしていたけれど、最後に 36cm^3 と正解を書いた】子どもの一人に次のような質問をしました。

「なぜ、空欄にしておいたのですか？」

子どもからの返答は次のとおり。

「変な問題だなと思ったからです。だって、問題文に答えが書いてあったからです。」

確かに、この子どもの言うとおりかも知れません。問題文には、

「 1cm^3 の立方体が36個あります。36個をすべて使って、」

と書いてあります。

「直方体の体積は 36cm^3 」と、答えを明かしているようなものです。

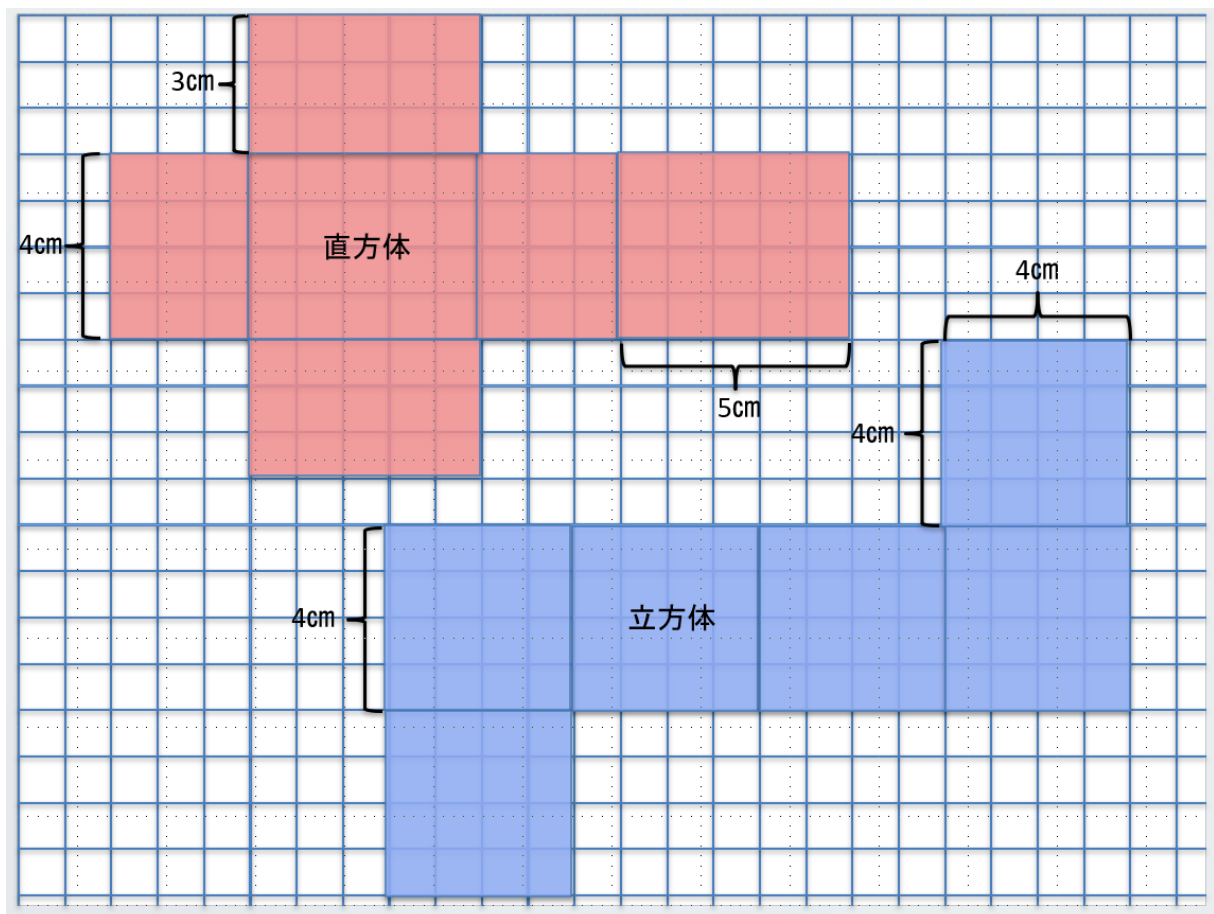
子どもにしてみれば、算数の問題というと、式を書いて、計算をして、答えを求めるのが一般的だということなのでしょう。この子どもは問題文の中に答えが書いてあるようだと判断したので、いわゆる「ひっかけ問題」だと警戒したのかもしれませんが。

この問題は、誤答が多い問題の1つでもありました。『36』とは書かずに、『9』と書いている解答が散見されました。直方体の体積を求める公式（縦×横×高さ）を想起し、高さが4cmならば、残りは縦×横（3×3）で9だろうと考えなのでしょう。

36×4を計算してその答えを書いている解答もありました。

なぜ、今回の全国学力テスト（算数）でこのような問題が出題されたのか、私たちは「全国学力テストからのメッセージ」を読み解く必要があります。

この問題には、
「直方体の体積を求める公式を覚えていて、使えることも大事だが、体積の意味（ 1cm^3 の立方体のいくつ分）が本当に分かっているのか。」
さらに、
「問題文をもとに、高さが 4cm で体積が 36cm^3 の直方体を頭の中にイメージする思考力が身に付いているか」
ということを問い直す、『全国学力テストからのメッセージ』が込められているのかもしれない。

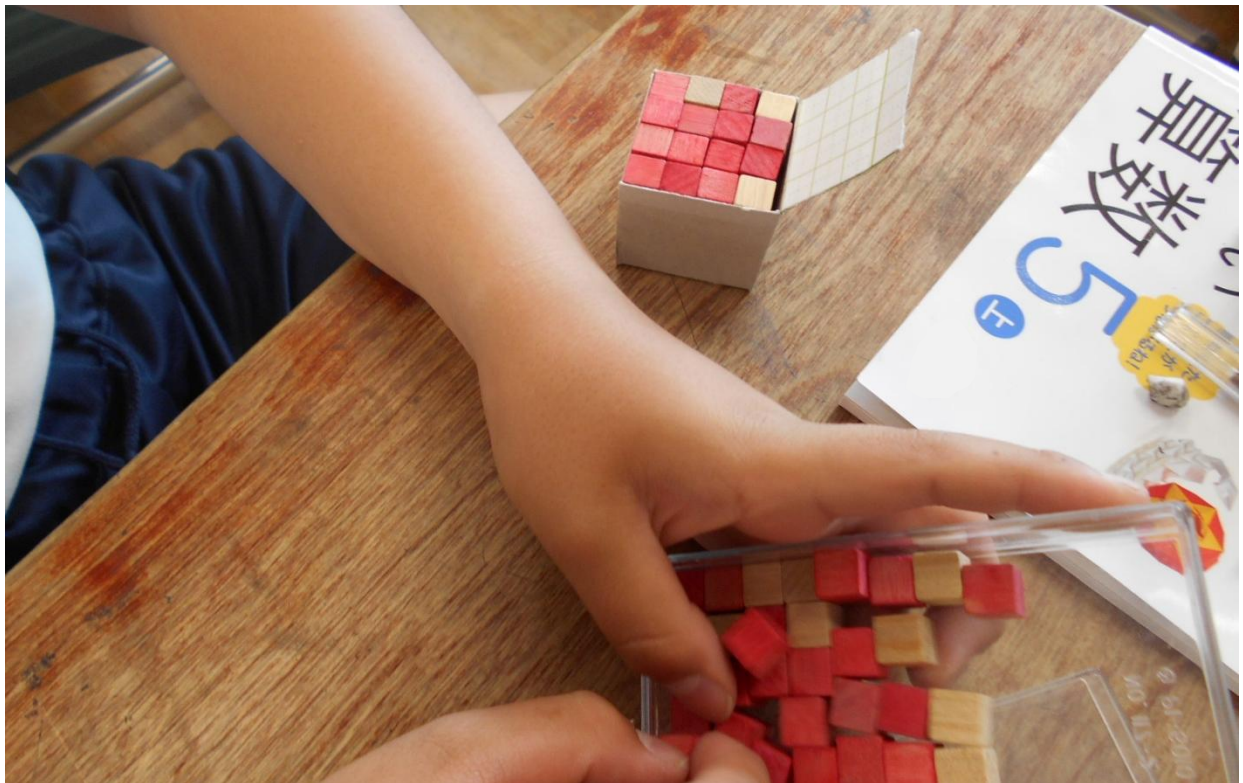


さて、全国学力テストが実施された4月23日から、さかのぼること3日前。5年生の教室では、上の図のように、

工作用紙を直方体と立方体の展開図の形に切って、組み立てると、 1cm^3 の立方体の積み木がたくさん入るのはどちらの立体でしょう。

という問題に子どもたちが取り組んでいました。

子どもたちは、ハサミで切り取った工作用紙の展開図を実際に組み立てて、その中に 1cm^3 の立方体を入れ込んでいました。かなり苦戦していましたが、それでも表情は生き生きとしていました。



私が参観したのは、ここまででしたが、きっとこの後の活動で体積の意味（ 1cm^3 のいくつ分）を、実感を伴って獲得していったのでしょう。

今回紹介した全国学力テストの問題を子どもたちが解けるようにするために、私たち教師は、どのような授業を日々仕組んでいけばいいのか。

全国学力テスト実施日の3日前に行われた5年生の学習にその答えがあったようにとらえています。

単なる知識の詰め込みではなく、子どもが指先を使って実物などに触れ、試行錯誤しながら理解や考えを深めていくことが大切なのでしょう。

これからも子どもたちと一緒に「楽しくて、深い学び」をつかっていきたいと思っています。

よいや～の風によって



令和8年 4 月30日 (木) No.8 校長 東原 宏章

「頼りになります」

1 年生にとって、覚えること、慣れることがたくさんあった 4 月でした。机の中やロッカーの整理の仕方、給食の配膳の仕方などを覚えました。緊張の連続だったことでしょう。そんな 1 年生を支え続けてくれたのが 6 年生のパートナーです。



6年生の中には、登校してきた1年生を教室で出迎えてくれる人がいます。休み時間に一緒に遊んでくれる6年生もいます。1年生がほっとする時間の1つです。



「6年生の皆さん、この1か月、1年生を支えてくれてありがとうございます。5月からはいよいよ運動会の練習が始まります。5月も1年生にとって良きパートナーであってください。」

よいや～の風にのって



令和8年5月11日(月)No.9 校長 東原 宏章
「すくすく育て」



運動会の練習が始まりました。6年生は運動場で、5年生は体育館で、それぞれ表現運動の練習を重ねています。どちらの学年の演技も、腰

を深く下ろして踏ん張る場面が多く、練習後の子どもたちからは「思った以上にきついです」「太ももがパンパンになりました」といった声が聞かれました。

そんな中で驚かされるのは、子どもたちの豊かな吸収力と成長です。先週よりも指先まで力が入り、見違えるほど思い通りに体を動かせるようになっていきます。



給食前の4校時に体育の学習があったにもかかわらず、昼休みには再び運動場へ飛び出し、元気に走り回る姿は実にたくましいものです。

また、学級園や学年園では、野菜の苗を畑に移植する作業や観察学習が進められています。





土日の間に10cm近くも伸びている作物がありましたが、これは子どもたちが毎日欠かさず水や

りをしてくれているからこそでしょう。

心身ともに「すくすく」と。運動場でも畑でも、
命の輝きがあふれる季節です。

よいや～の風にのって



令和8年5月14日（金）No.10 校長 東原 宏章

「清々しい1日の始まり」

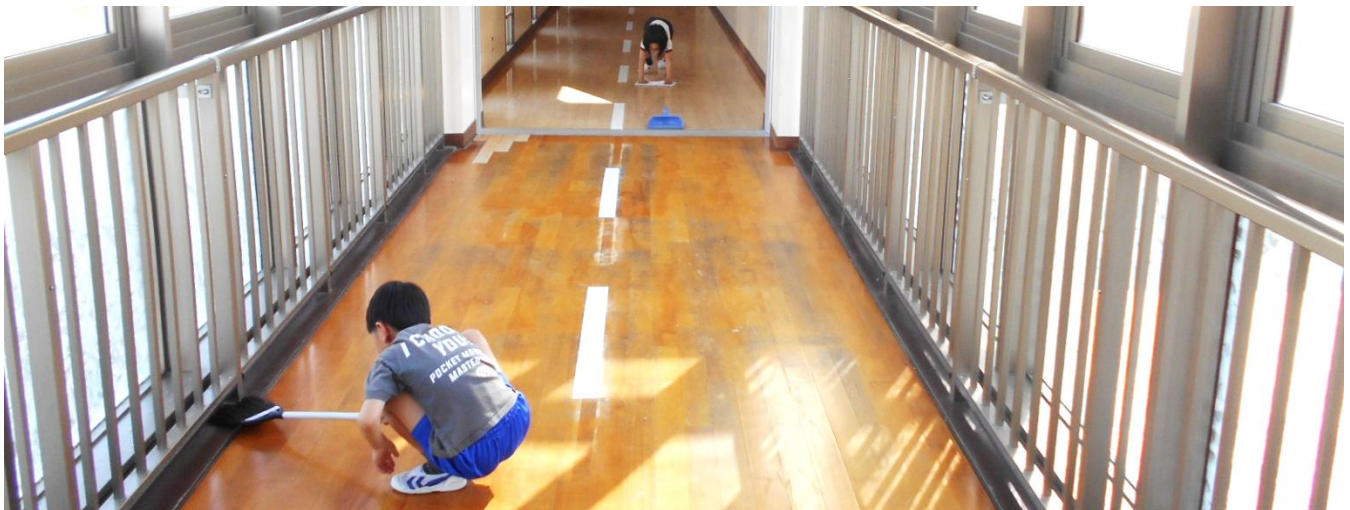
初夏の心地よい風が吹き抜ける中、グラウンドでは運動会の練習に励む子どもたちの声が響いています。



今年度から、日課の大きな変更がありました。昨年度までは昼休み後に行っていた清掃時間を、1校時前の8時25分開始へと移したのです。

連日の練習で疲れが溜まっている頃かと思いますが、子どもたちはそれを見せることなく、朝から一生懸命に清掃活動に取り組んでいます。

長い廊下を勢いよく雑巾がけする子。膝をついて手を伸ばし、手すりの隙間にまでほうきを差し入れてゴミを掃き出す子。



大きな物をどけて、溜まっていた埃を一生懸命に集める子どもたちの姿もありました。



また、ほうき係と雑巾係が阿吽（あうん）の呼吸でコンビを組み、リズムよく階段を一段ずつ進んでいく姿も印象的でした。



校内には爽やかな空気が満ち、清々しい気持ちで1校時の授業をスタートさせることができます。